

スミダコーポレーション株式会社

2025年12月期第1四半期決算説明資料

2025年5月1日

1. 業績概要（FY2025.1Q） 及び事業環境の見立て

2. Appendices

1. 業績概要（FY2025.1Q） 及び事業環境の見立て

2. Appendices

売上高	1Q	353	億円	(YoY -2.5%)
営業利益	1Q	12	億円	(YoY +3.6%)

減収増益。

YoY減収となったものの、前年度から進めている損益分岐点引き下げ施策が大きく寄与した結果、増益着地。

主な損益分岐点引き下げ施策進捗：

- ✓ 欧州における事業構造改革が概ね計画通り完了
- ✓ 中国における製造間接費の適正化も計画通りの進捗

業績概要 (地域別・市場別売上・グリーンエネルギー関連売上)



地域別			市場別			グリーンエネルギー関連売上		
FY25.1Q YoY			FY25.1Q YoY			FY25.1Q YoY		
Asia	141億円	-1.6%	車載	220億円	-3.7%	xEV - 車載	53億円	+9.6%
North America	74億円	+29.7%	インダストリー	91億円	-2.4%	インダストリー(xEV 急速充電器、太陽光発電、蓄電池等)	50億円	+8.0%
Europe	138億円	-14.7%	家電	42億円	+3.9%	合計	103億円	+8.8%
						売上高に占める割合	29.2%	+3.1pt

Asia	→	- 車載市場は、中国における現地メーカーの著しい伸長もあり、xEV関連がYoY、QoQともに増収。一方、欧州系メーカーの停滞等を背景としたICE*関連の減収の結果、全体で86億円 (YoY -9.9%)の減収着地。 - 蓄電池需要の高まりもあり、インダストリー市場は24億円 (YoY +29.5%)の増収着地。 - 家電市場はスマートフォン、パソコン関連需要が引続き緩やかに回復した結果、30億円 (YoY +5.3%)の増収着地。
North America	↗	- 車載市場は、ICE関連が減収となったものの、xEV関連ではシェアが伸びたこともあり、全体で30億円 (YoY +8.2%)の増収着地。 - インダストリー市場はEV急速充電、蓄電池ビジネスが好調に推移した結果、36億円 (YoY +67.7%)の大幅な増収着地。 - 家電市場は7億円 (YoY +2.0%)でほぼ横ばい。
Europe	↘	- 車載市場は市況が向かい風の中、新規プロジェクトの立ち上がりが寄与した結果、103億円 (YoY -1.3%)と健闘。 - インダストリー市場は引続き、製造業景況感の低迷もあり、30億円 (YoY -42.4%)の大幅な減収着地。 - 家電市場は4億円 (YoY -1.3%)でほぼ横ばい。
グリーンエネルギー関連	↗	- 車載市場 (xEV)、インダストリー市場 (急速充電器 / 太陽光発電 / 蓄電池等)両市場で伸長した結果、103億円 (YoY +8.8%)の増収着地。 - 売上高に占める割合も29.2% (YoY +3.1pt)まで伸長。

*上記定量データは管理会計値 *グループ販売会社の所在地別売上 *ICE: 内燃機関 (Internal Combustion Engine)

環境	米国での第二次トランプ政権による関税政策（以下、トランプ関税）及びロシア/ウクライナの停戦交渉など、事業環境における不確実性の高まりが見られる。米国や中国では景気悪化の懸念も。対して、製造業景況感が長らく低迷している欧州においては、ドイツ政府がインフラや防衛関連への投資を増やすことで経済活性化や防衛力強化を目指す財政拡張方針を発表*。 *今後10年で交通やエネルギー網、住宅などの優先分野に投資する5,000億EUR規模のインフラ基金を設定 *防衛および安全保障支出を債務ブレーキの適用対象外に
影響/リスク	最大のリスク要因は米国「トランプ関税」。 当社の取引において、当社が通関手続きを行うことはほばないものの、様々な影響が考えられる。具体的には下記の可能性。現時点では影響の度合いを見極めている最中。 ✓（最終消費者が負担した場合）最終需要の低下 ✓（顧客が負担した場合）サプライ・チェーン各段階での値下げ圧力 ✓ 原材料の値上げ ✓ 為替
対応	✓ 各地域で設計/製造/販売を完結できる地産地消体制を活かした柔軟な顧客対応 Ex. 製品 ：ルート変更、生産地移管 原材料：ローカルサプライヤー開拓 ✓ 損益分岐点の更なる改善（Ex.中国における製造間接費の適正化、更なる経費の抑制） ✓ 顧客への価格転嫁

		FY24	FY24	FY25			FY25
		1Q	4Q	1Q			通期
		実績	実績	実績	前年同期比	直前四半期比	業績予想 ^{*1}
売上高	百万円	36,313	34,442	35,390	-2.5%	+2.8%	144,000
営業利益	百万円	1,194	407	1,236	+3.6%	+203.6%	7,000
税引前当期利益	百万円	464	-389	802	+72.6%	N/A	4,080
当期利益 ^{*2}	百万円	348	-651	585	+68.1%	N/A	3,200
EPS ^{*3}	円	10.68	-19.70	17.72	+65.9%	N/A	96.83
営業利益率		3.3%	1.2%	3.5%	+0.2pt	+2.3pt	4.9%
当期利益率		1.0%	-1.9%	1.7%	+0.7pt	+3.6pt	2.2%

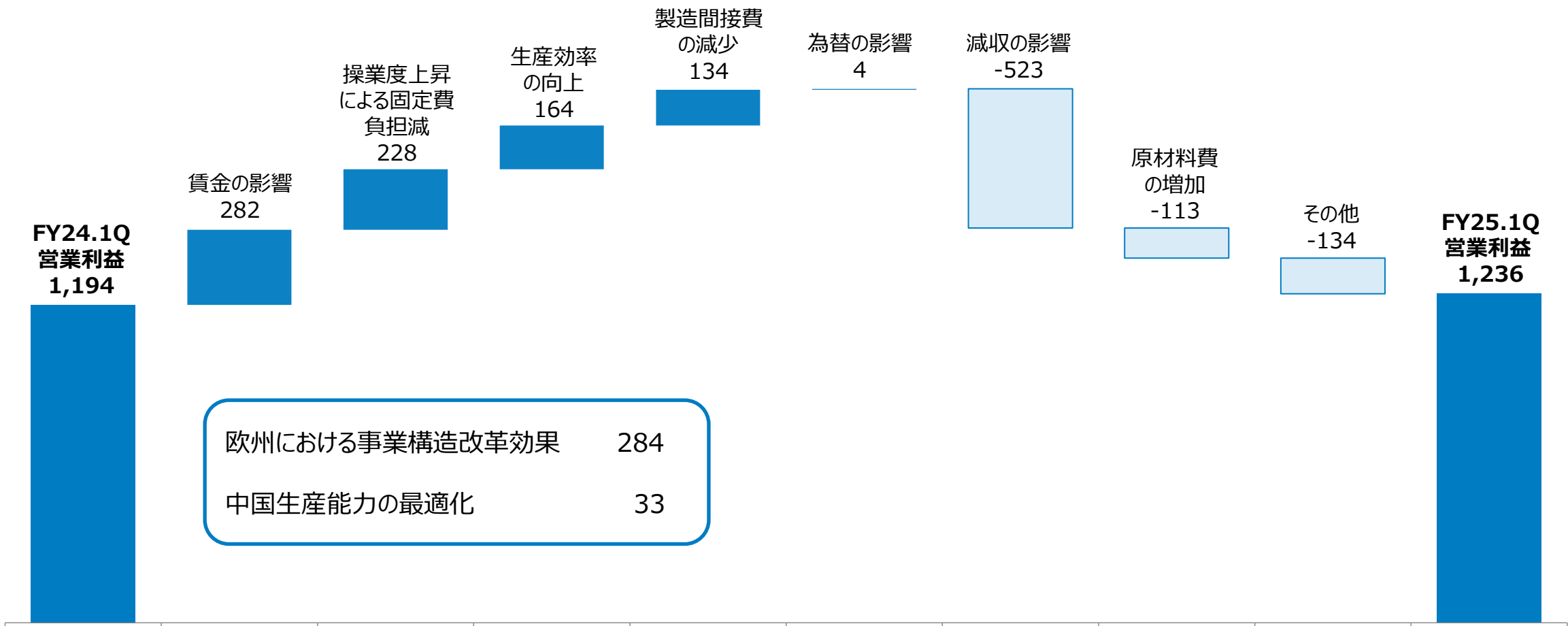
為替レート ^{*4}	米ドル	円	146.70	149.67	154.16	+5.1%	+3.0%	145.00
	ユーロ	円	159.92	162.04	160.95	+0.6%	-0.7%	159.50
	人民元	円	20.44	20.98	21.17	+3.6%	+0.9%	20.40
	香港ドル	円	18.76	19.24	19.82	+5.7%	+3.0%	18.60
銅価格 ^{*5}	USD/ton		8,444	9,178	9,346	+10.7%	+1.8%	9,500

^{*1} 2025年2月7日発表 通期連結業績予想
^{*2} 親会社の所有者に帰属する当期純利益
^{*3} 基本的1株当たり当期利益
^{*4} 期中平均為替レート
^{*5} LME市況値（対象期間各月平均の単純平均） LME: London Metal Exchange ロンドン金属取引所

営業利益増減要因分析 (FY2024.1Q ⇔ FY2025.1Q)



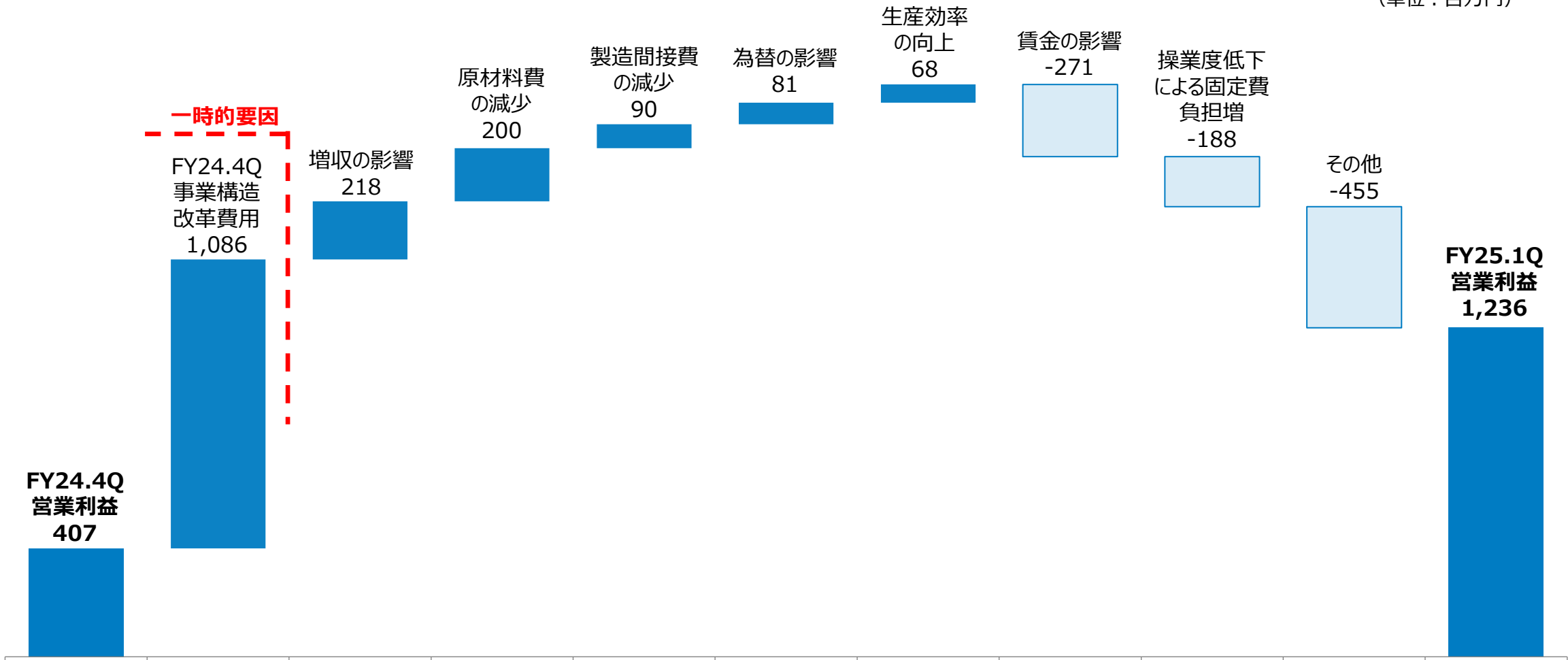
(単位：百万円)



営業利益増減要因分析 (FY2024.4Q ⇔ FY2025.1Q)

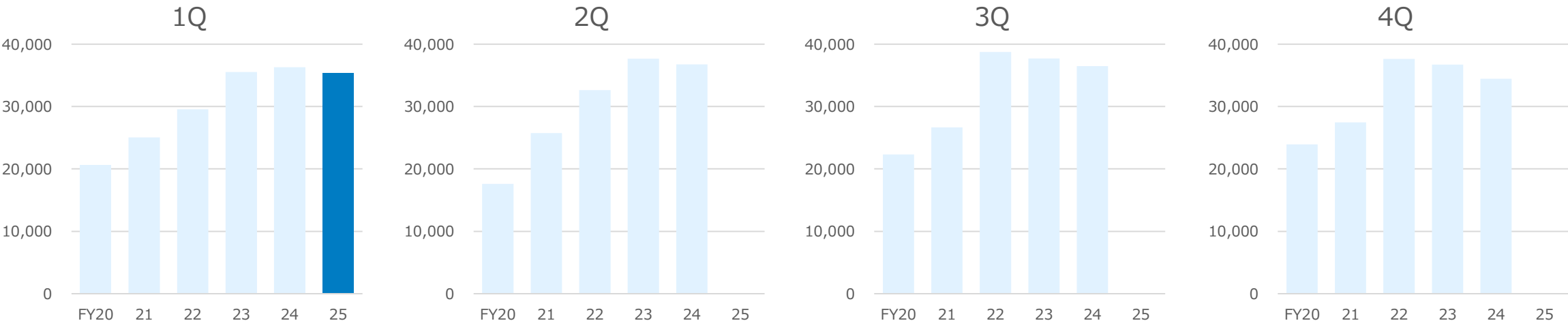


(単位：百万円)

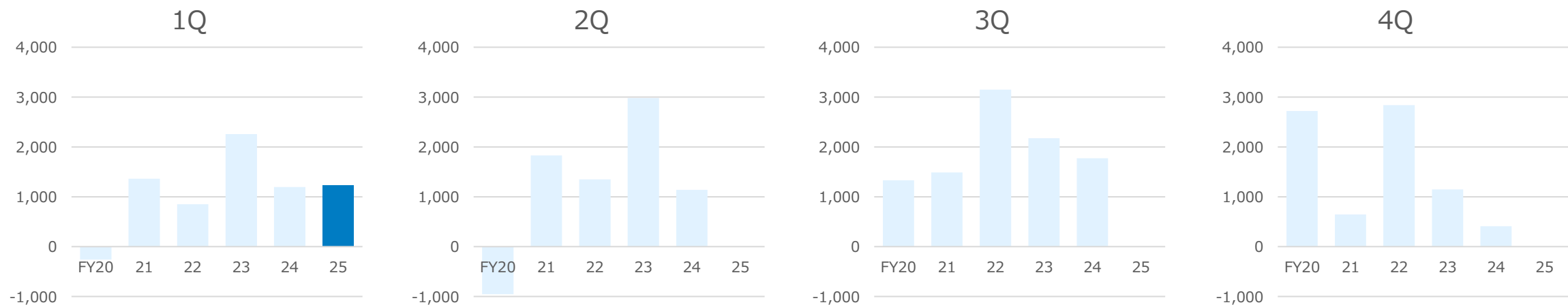


売上高

(単位：百万円)



営業利益



		FY24 12月末	FY25 3月末	増減額
現金及び現金同等物	百万円	4,286	6,087	1,801
営業債権及びその他の債権	百万円	30,167	30,070	-97
棚卸資産	百万円	29,350	27,134	-2,216
その他の流動資産	百万円	5,867	6,323	455
流動資産	百万円	69,672	69,615	-56
有形固定資産	百万円	54,906	52,375	-2,531
のれん	百万円	5,730	5,564	-165
無形資産	百万円	7,722	7,406	-315
その他の非流動資産	百万円	9,734	9,147	-587
非流動資産	百万円	78,094	74,494	-3,600
資産合計	百万円	147,766	144,110	-3,656

*1 Net DEレシオ：（（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）-現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

*2 期中平均為替レート

		FY24 12月末	FY25 3月末	増減額
営業債務及びその他の債務	百万円	14,960	14,097	-863
短期有利子負債	百万円	30,964	32,937	1,973
1年以内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	百万円	5,459	4,929	-529
その他の流動負債	百万円	10,285	9,383	-901
流動負債	百万円	61,669	61,348	-321
長期有利子負債	百万円	16,004	15,239	-764
その他の非流動負債	百万円	9,177	9,123	-53
非流動負債	百万円	25,181	24,363	-818
負債合計	百万円	86,851	85,711	-1,139
資本合計	百万円	60,915	58,398	-2,516
負債及び資本合計	百万円	147,766	144,110	-3,656

流動比率		1.13	1.13
Net D/Eレシオ ^{*1}		0.82	0.84
CCC	日	95	94

為替レート ^{*2}	米ドル	156.15	149.14
	ユーロ	162.70	161.55
	人民元	21.34	20.52
	香港ドル	20.11	19.17

連結キャッシュ・フロー

		FY24.1Q	FY25.1Q	増減
税引前当期利益	百万円	464	802	337
減価償却費及び償却費	百万円	2,626	2,577	-49
運転資本の増減	百万円	-452	355	808
事業構造改革引当金の増減	百万円	0	-716	-716
その他	百万円	-67	-474	-407
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	2,571	2,544	-27
設備投資	百万円	-2,384	-1,076	1,307
その他	百万円	-128	-169	-41
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-2,512	-1,245	1,266

フリー・キャッシュ・フロー	百万円	58	1,298	1,239
---------------	-----	----	-------	-------

		FY24.1Q	FY25.1Q	増減
有利子負債の増減	百万円	3,855	1,989	-1,865
株式発行	百万円	0	0	0
配当金支払	百万円	-913	-890	23
その他	百万円	-309	-349	-39
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	2,631	749	-1,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	百万円	204	-246	-450
現金及び現金同等物の期首残高	百万円	3,107	4,286	1,178
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	6,002	6,087	85

		FY24 12月末	FY25 3月末	増減
DSO（売上債権回転日数）	日	73	73	-
DIO（在庫回転日数）	日	85	79	-6
DPO（仕入債務回転日数）	日	63	58	-5
CCC	日	95	94	-1

1. 業績概要（FY2025.1Q） 及び事業環境の見立て

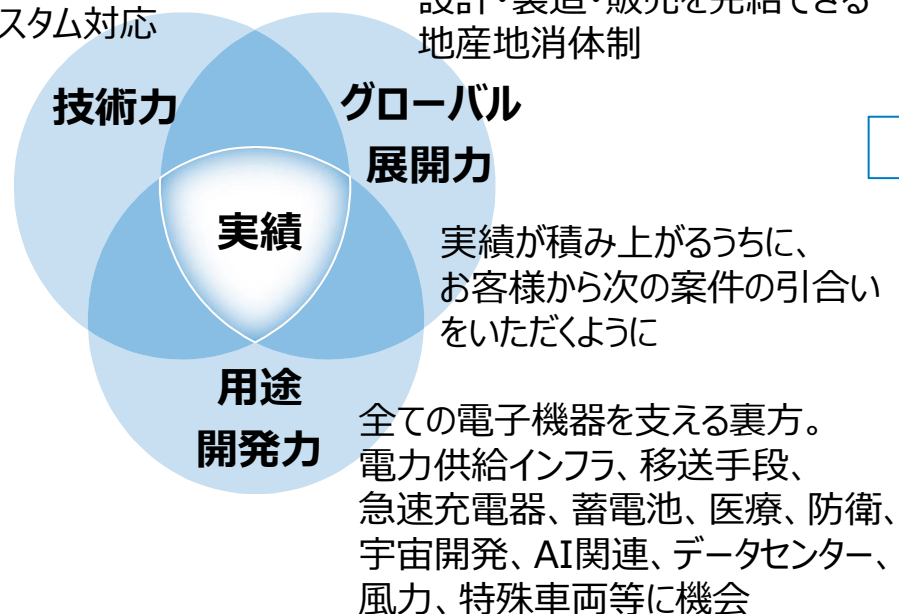
2. Appendices

当社は技術力を磨きグローバルに展開しながら、創業から一貫してコイルの新たな用途を開発し続けてきた。各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績を築き、継続的に引合いをいただいている。

当社の強み

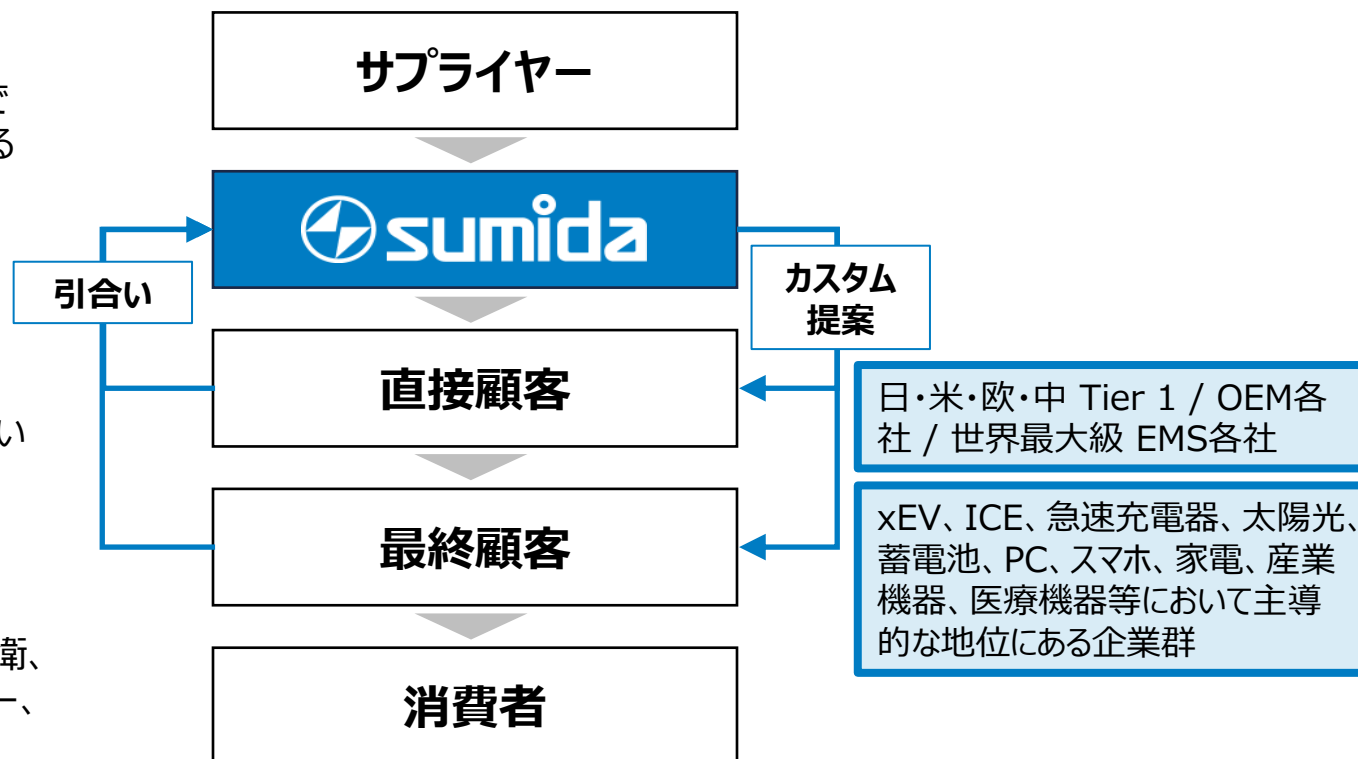
コイルはあらゆる電子機器に欠かせない、用途無限の部品

「巻き線」技術の中核とした
引き出しの多さで、あらゆる
ご要望にカスタム対応

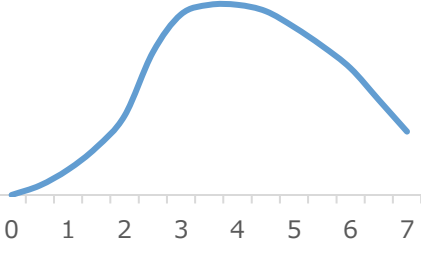
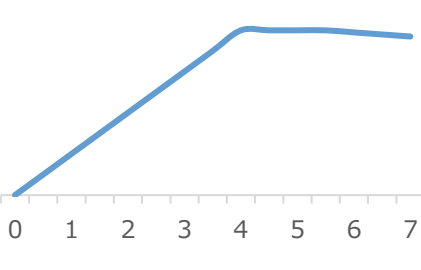
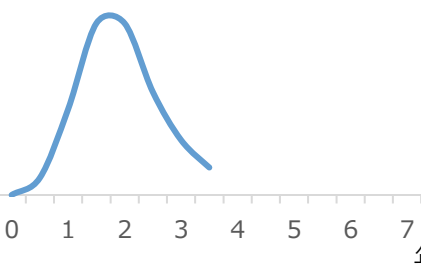


当社事業における商流

各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績



当社の手掛けるカスタム案件では、製品市場別に概ね以下のような時間軸で売上が計上される。

	車載	インダストリー	家電
案件獲得から売上計上までの期間	2~3年	2~3年	1~2年
	GREEN 1~2年		
生産開始後の売上推移（イメージ）			
製品ライフサイクル（イメージ）	5年超	7年超	3年超

環境変化を機会と捉え、各地域それぞれのニーズ*にきめ細かくカスタム対応する。

* 世界全体: エネルギーインフラ更新・拡大、北米: 化石燃料回帰、中国: 内需拡大のインフラ投資

事業環境の認識

当社の対応

地球温暖化

- 脱炭素アプリケーション（xEV他）
- エネルギー源の多様化
- エネルギー消費量の増加
- 経済デカップリング
- 安全保障上の抑止力

生成AI

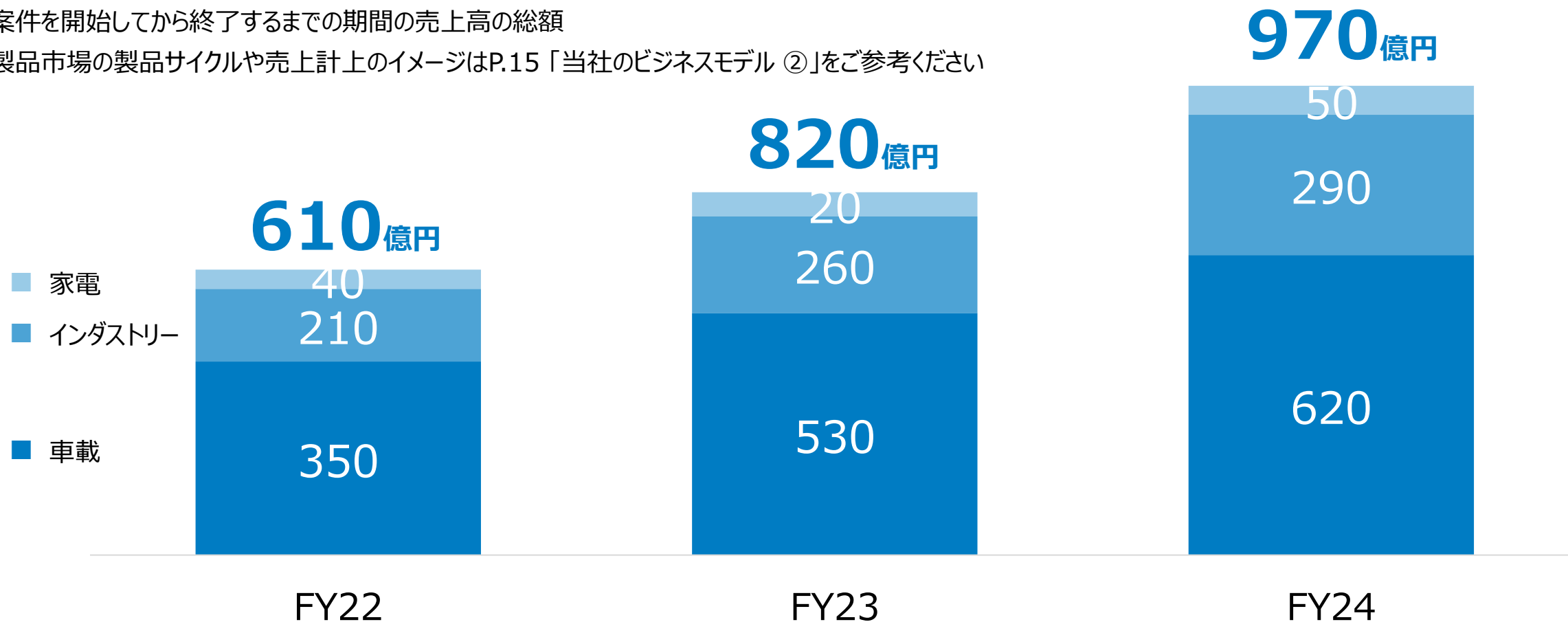
自国第一主義

- 自動車、バイク、特殊車両、船舶などあらゆる移送手段
- 太陽光、風力発電
- 大容量電力の安定的且つ高効率な電力供給インフラ（グリッド）、蓄電池
- 「地産地消」 - 域内で完結するサプライチェーン

2024年は過去最高額となる約970億円 (ライフタイム*)の新規案件を獲得。
グリーンエネルギー関連の大型案件獲得が大きく寄与。

*各案件を開始してから終了するまでの期間の売上高の総額

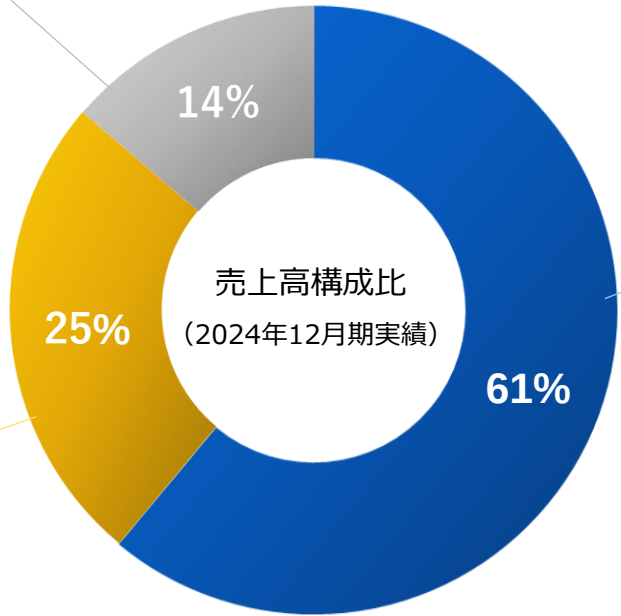
*各製品市場の製品サイクルや売上計上のイメージはP.15「当社のビジネスモデル ②」をご参考ください



*10億円未満を切り捨ててで表示



■ 車載市場 ■ インダストリー市場 ■ 家電製品市場





携帯電話の充電器



AED（自動体外式除細動器）



太陽光発電装置



自動車（キーレスエントリーシステム）



自動車（ABS：アンチロック・ブレーキシステム）



自動車（xEV パワートレイン）

アンテナ

イビディガ
アンテナ

スマートキー
車側 LFアンテナ

スマートキー
キー側RXアンテナ

フレキシブルボード
コネクタ

LED

ヘッドライト駆動回路の
電源用コモンモードチョーク

コモンモードチョーク

フレキシブルボード
コネクタ

パワーインダクタ

電源トランス

エアコンディショナー

高耐圧トランス

フレキシブルモジュール

HV 入力
インダクタ

可変容量コンプレッサ
コントロールバルブ用
アクチュエータ
モールドコイル

EMC チョーク

シフトロック

BTSI

エアバッグ

FFC
ジャンパー
ケーブル

ECU

パワーインダクタ

RF チップ インダクタ

ZIF ジャンパー
ケーブル

バッテリーチョーク

棒コイル

インジェクション

インジェクション
モールドコイル
ディゼールステータ

トランスミッション

CVT 油圧制御用
アクチュエータモールドコイル

ビスカスクラッチ

AWDIエンジンファン

インフォテインメント

Haptic
アクチュエータ

デジタルアンプ用LPFコイル

ABS/ESC

バックソナー

超音波素子駆動用
昇圧 トランス

**CAN
BU**

コモンモードチョーク

重点分野: 車載関連 XEV

フィルタモジュール



カスタム設計
最大800 Vの電圧
300 Aまでのアンペア数
安全基準に準拠



昇圧インダクタ

インバータ向けゲートドライブトランス



IGBT & SIC ドライブ 電源 トランス パワー インダクタ

内部電源用のSMPS



ADAS & BMS



Li-ion バッテリ
監視用絶縁トランス



パワー インダクタ



バッテリー
過電流保護コイル

DC-DC コンバータ for HVDC



結合型/リーケジ
インダクタ

電源トランス

EV急速充電器



ゲートドライブトランス

電源トランス

チョーク
モジュール

EV向けワイヤレス給電



マッチングトランス

ワイヤレス充電

RPS



HEV/EV
モーター制御・
ロータポジ
ションセンサ



SMD-R

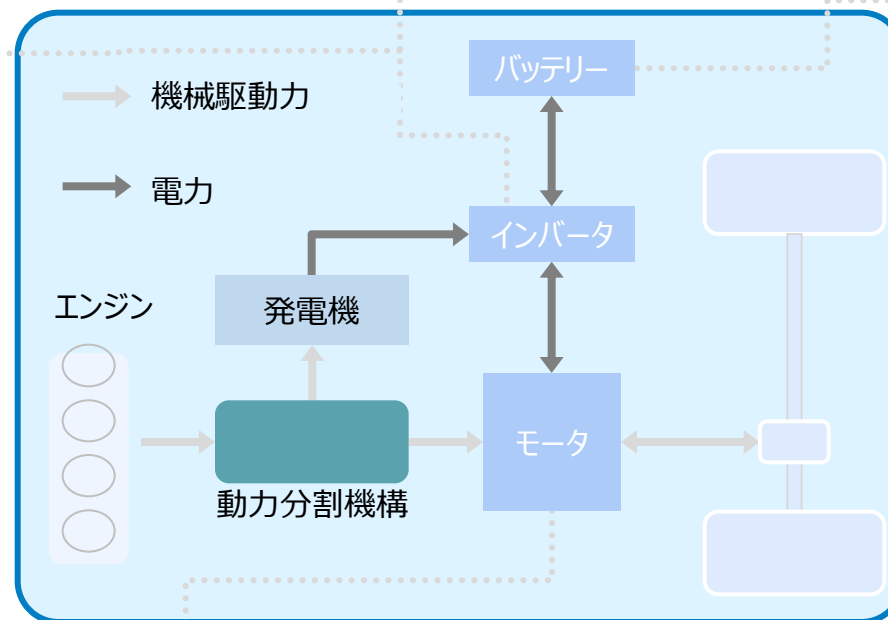
FOR MILD HV (BSG/ISG)



大電流
パワー インダクタ



バスバー



車載充電器 (OBC)



電源トランス



パワー インダクタ



フラットケーブル

カレントトランス



PFCEモジュール

重点分野: インダストリー関連

太陽光発電



PFC インダクタ



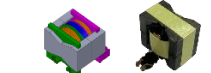
ACチョーク



DMC
フィルタ
チョーク
モジュール



リアクトル
チョーク
モジュール



電源トランス



発電用 インバータ



DCL/AC
L リアクトル



電源トランス

風力発電



DCリンク
チョーク

イチビサイズ
コイル



フレキシブル
ボードコネクタ

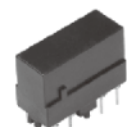
通信機器電源用



コンモードチョーク



アイソレーショントランス



棒コアチョーク



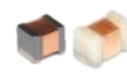
信号



電源トランス



RFチップ
インダクタ



油圧バルブ コイル



ソレノイド



セキュリティ、RFID



コンモードチョーク



アンテナコイル



AC ラインフィルタ



ノーマルチョーク



RFチップ インダクタ



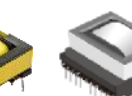
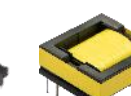
医療機器



フォークリフト、 ハイブリッド 建設機械



電源トランス & リアクトル



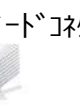
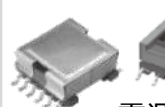
フラットハーネス



フレキシブルボード
コネクタ



産業ロボット向けコントロールシステム



リアクトル



フレキシブルボードコネクタ



電源トランス



パワーインダクタ



5G移動通信基地局

コンモードチョーク



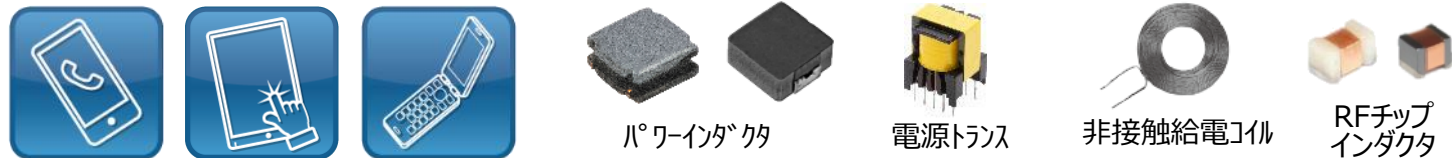
PoEトランス



パワー インダクタ



携帯機器（スマートフォン・タブレットPC） & ACアダプタ・ワイヤレス充電器



LED 照明



ゲーム機



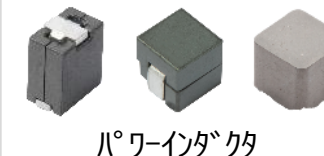
液晶テレビ



デジタルカメラ



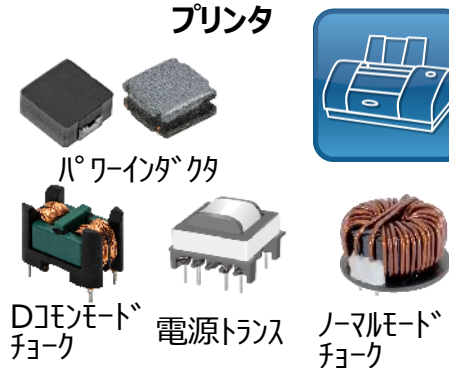
SERVER



エアコン



プリンタ



家庭用電化製品

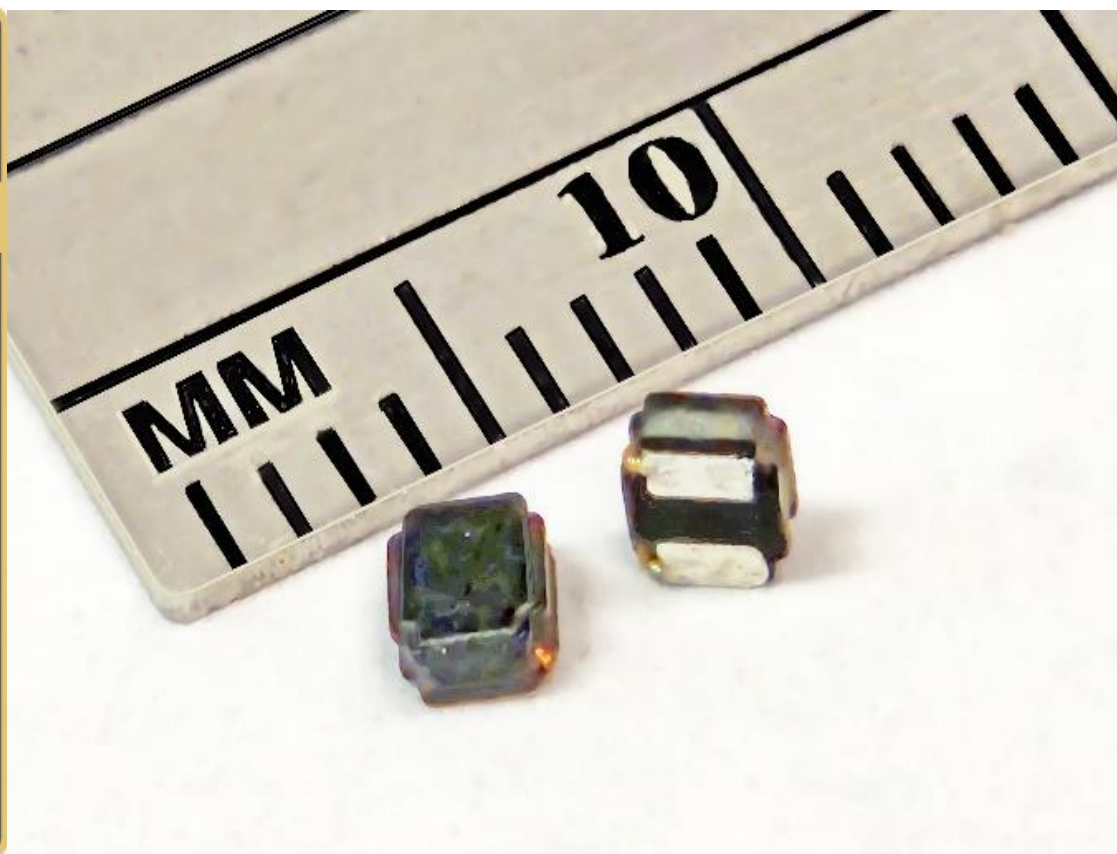


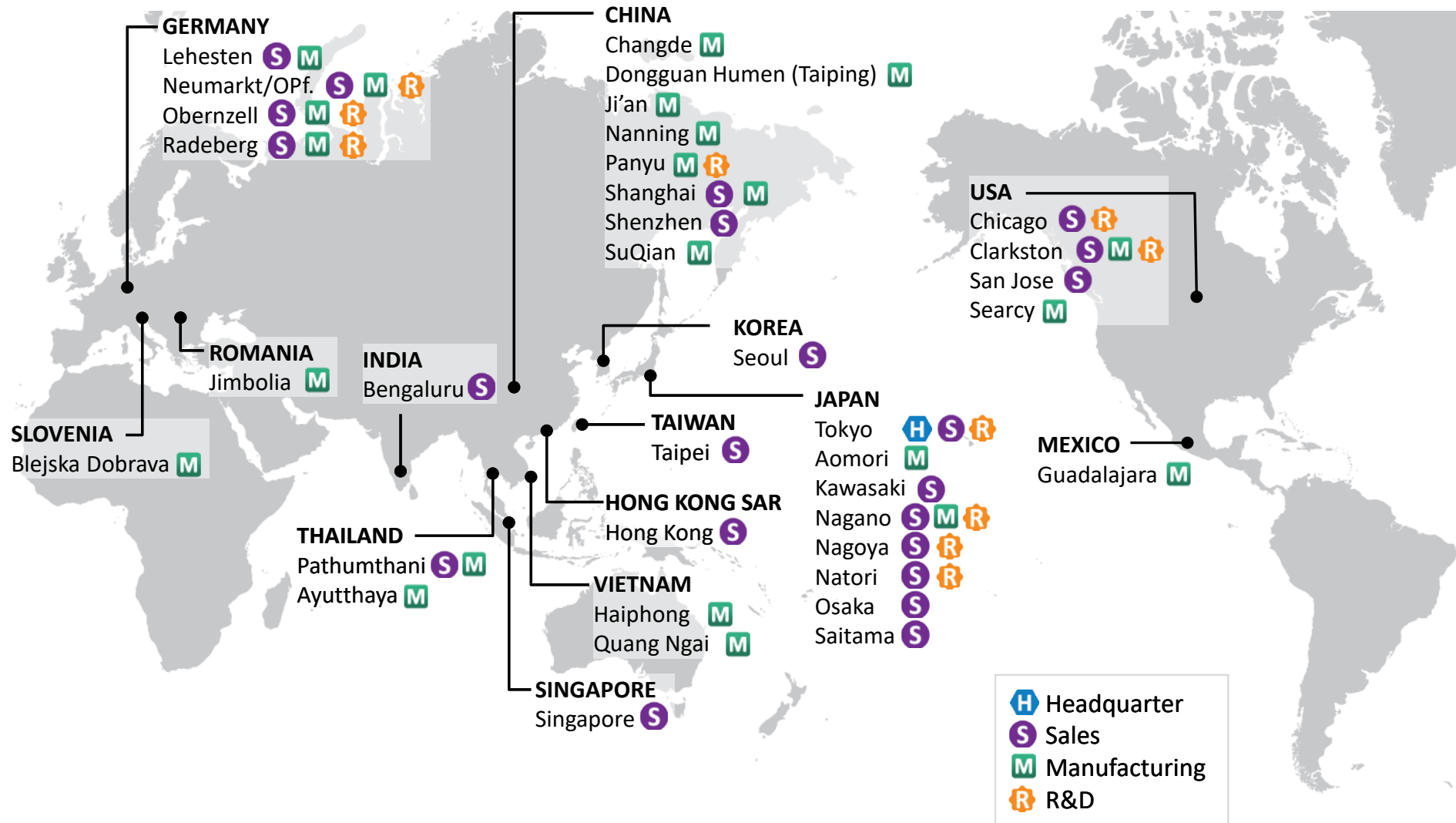
ノート PC



新製品「CDxxxxMB/DS SMD樹脂シールドインダクタ」が米国の権威あるエレクトロニック・プロダクツ誌の第49回受動部品部門において、年間最優秀製品に選出

詳しくは[こちら](#)





販売

10カ国 22拠点
 アジア 15拠点
 欧州 4拠点
 北米 3拠点

製造

14カ国 23拠点
 アジア 14拠点
 欧州 6拠点
 北米 3拠点

研究開発

4カ国 10拠点
 アジア 5拠点
 欧州 3拠点
 北米 2拠点

中期経営計画2024-2026 取り組み課題

1. SUMIDAグループの技術開発と製品を通して二酸化炭素削減に貢献する
2. 資源の有効活用、廃棄物の削減、代替エネルギーの活用を推進して業務を遂行する
3. SUMIDAグループのあらゆるステークホルダーと共に国連開発計画が策定した17の持続可能な開発目標を達成する努力をし続ける

当社グループは、2030年度の温室効果ガス (Scope 1&2) を2022年比42%削減することを目指します。

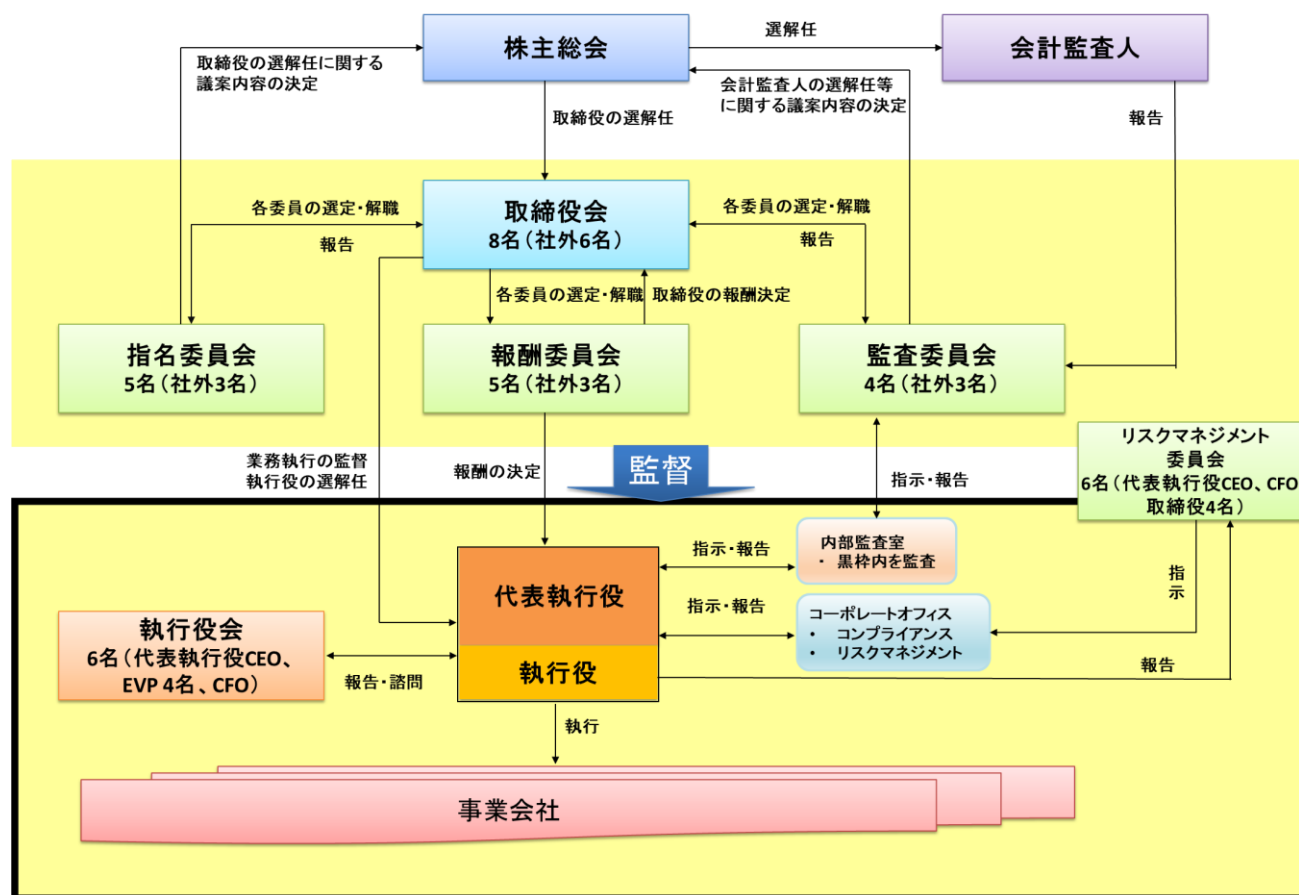
2024年実施事項

- ✓ 2030年までにスコープ1と2の排出量を42%削減するための行動計画を拠点ごとに実施
- ✓ プロダクト・カーボン・フットプリント (PCF) の測定方法と削減計画について話し合う、グローバルな「design4sustainability」ワークショップを定期的開催 (2024年 開催回数 2 回)

詳細につきましては、4月15日に開示しました「[スミダESGレポート 2024](#)」をご参照ください。

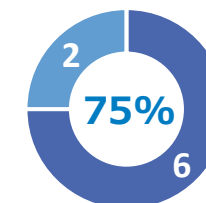
- ✓ SUMIDAは日本国内上場企業で最初に会社法上の機関設計として「指名委員会等設置会社」を採用しています
- ✓ 法定3委員会（指名・監査・報酬）の議長は独立社外取締役が務め、委員の過半数を独立社外取締役としています
- ✓ 取締役会及び指名・報酬委員会は全て英語で実施されます

コーポレートガバナンス体系図



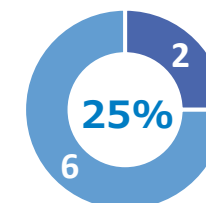
取締役会の構成

社外取締役比率



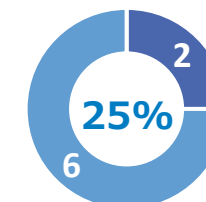
■ 社外取締役 ■ 社内取締役

女性取締役比率

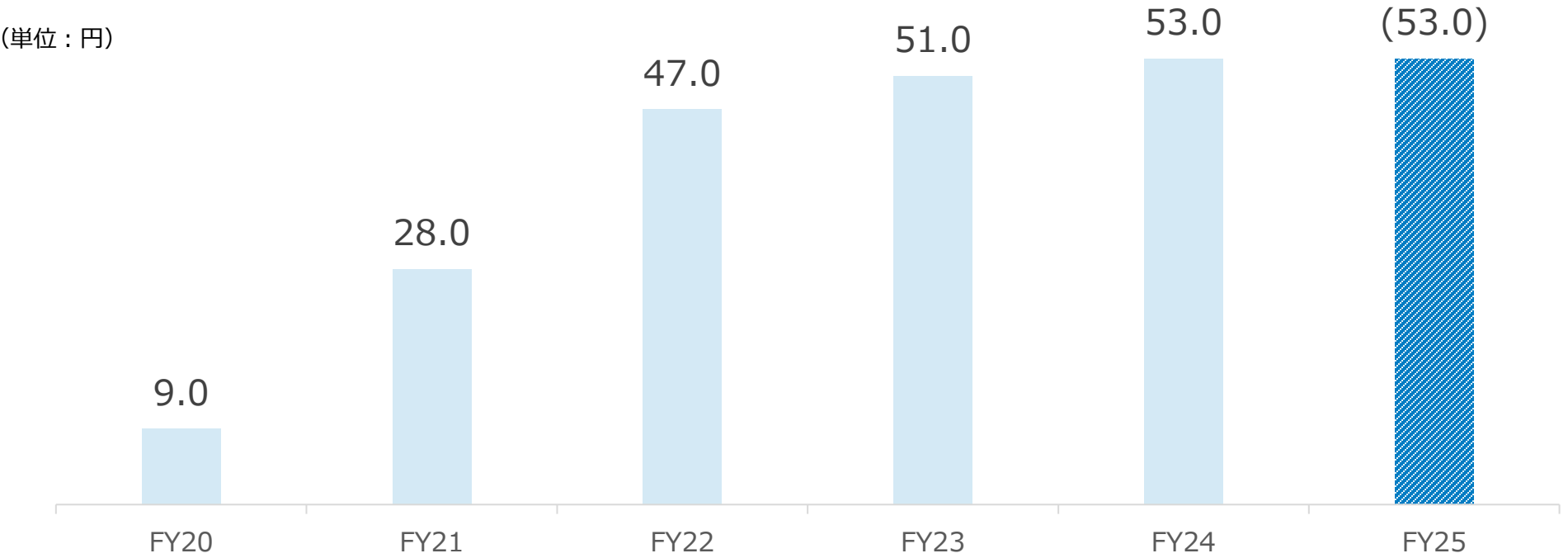


■ 女性取締役 ■ 男性取締役

外国人取締役比率



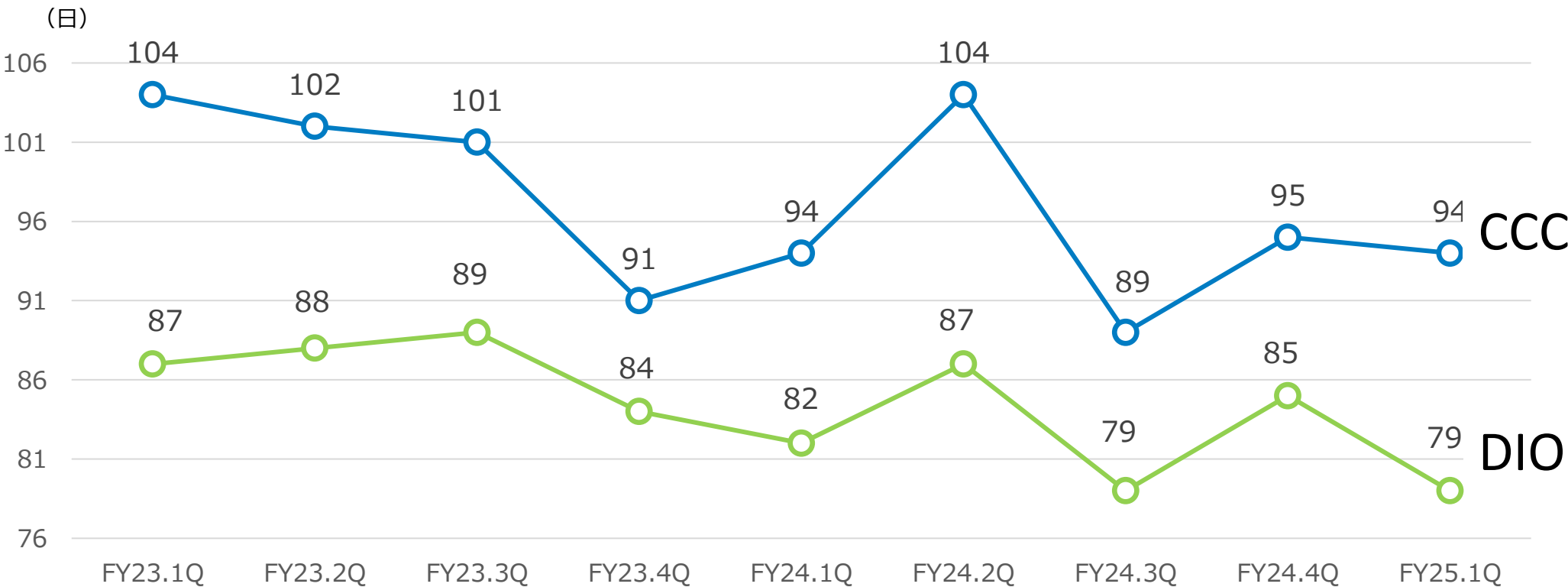
■ 外国人取締役 ■ 日本人取締役



		FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
通期	円/株	9.0	28.0	47.0	51.0	53.0	(53.0)
EPS	円	30.50	96.68	187.54	167.46	17.96	(96.83)
配当性向	-	29.5%	29.0%	25.1%	30.5%	295.1%	(54.7%)
配当総額	百万円	244	761	1,278	1,664	1,750	(1,751)
DOE	-	0.7%	2.1%	3.0%	3.0%	3.1%	(3.0%)

* 上記括弧内は2025年2月7日発表の決算短信予想値から計算

CCC / 在庫回転日数 (DIO)

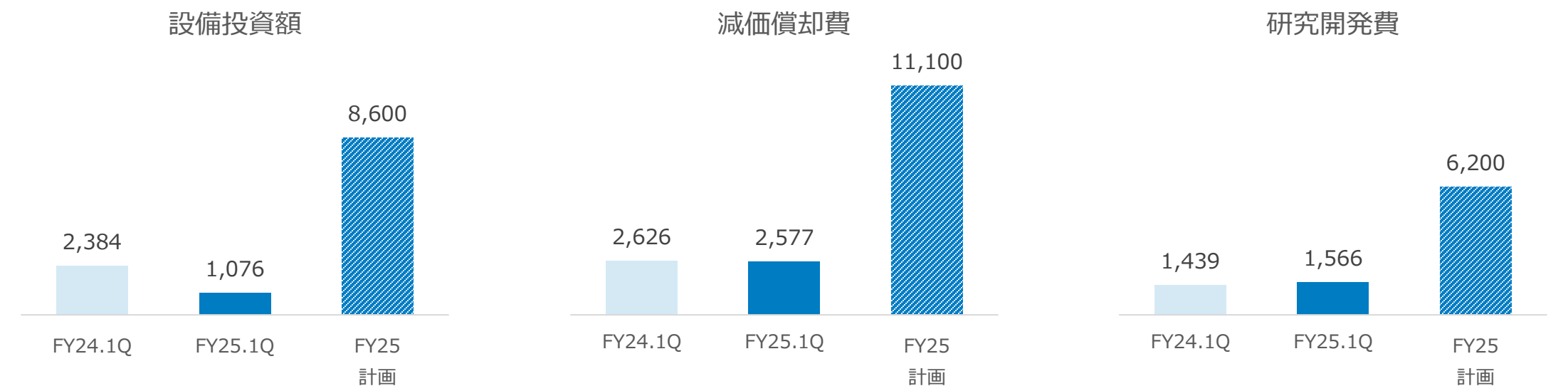


期末為替レート

米ドル/円	133.13	144.85	148.77	141.51	151.43	160.93	142.36	156.15	149.14
ユーロ/円	144.90	157.23	157.97	156.54	163.36	172.14	159.05	162.70	161.55
人民元/円	19.37	19.94	20.40	19.90	20.86	22.03	20.42	21.34	20.52
香港ドル/円	16.96	18.48	19.00	18.12	19.35	20.61	18.33	20.11	19.17

(単位：百万円)

	FY24 1Q 実績	FY25 1Q 実績	FY25 計画
設備投資額	2,384	1,076	8,600
減価償却費	2,626	2,577	11,100
研究開発費	1,439	1,566	6,200



計算対象期間 3ヵ月（2025年1月～3月）

通貨	FY25.1Q 為替レート*1	対円貨変動幅	営業利益への影響	FY25 業績予想 前提為替レート*2
	円	-	百万円	円
米ドル	154.16	1円円安	+56	145.00
ユーロ	160.95	1円円安	+9	159.50
人民元*3	21.17	0.1円円安	-32	20.40
香港ドル*3	19.82	0.1円円安	-9	18.60

*1 為替レート：計算対象期間の平均レートを参考値として記載しています
*2 2025年2月7日発表 通期連結業績予想
*3 中国、香港はコストセンターであるため、それぞれの為替感応度をマイナス表示しています

本Qでの更新を下記の通りお知らせいたします。

IRライブラリー	IR Document Archive	JP	EN
中期経営計画説明資料	Mid-Term Business Plan	JP	EN
個人投資家向け会社説明会資料	Briefing Session for Individual Investors	JP	EN
Factbook	Factbook	JP	EN
スミダESGレポート	SUMIDA ESG Report	JP	EN
ESG Data	ESG Data	JP	EN
TCFDに基づく情報開示	Climate-related Financial Disclosure based on TCFD	JP	EN
コーポレートガバナンス報告書	Corporate Governance Report	JP	EN
会社案内ビデオ（270秒）	Corporate Video (270 sec)	JP	EN

ご注意

将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

Global | Speed | Focus

